

2025年度 国語科シラバス (No. 6)

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース						
教科書	『精選 論理国語』数研出版		副 教 材	『新総合 図説国語』東京書籍 『精選 論理国語 準拠ワーク』数研出版 辞書アプリ 〈特進コースのみ〉 『LT 現代文3』浜島書店 『大学入学共通テスト演習現代文』いいずな書店 『語彙力と理解力をつける現代文単語』数研出版 『日本文学史 必携』第一学習社			
科目 の 概 要	「現代の国語」「言語文化」の学習内容を発展させ、近代以降の論理的文章を読む。考える力、資料を的確に読み取る力、記述力を養う。報告書、小論文を書くことで入学試験対策を行い、あるいは社会で役立つ力を身につけるものとする。将来にわたって必要な、大きな軸となる学力を養うことを目標とする。			評価 の 観 点	【知識・技能】学習内容を理解できているかどうか。 【思考力・判断力・表現力】文章内容を自分の知識とし、更に発展的に考えることができているか、課題をきちんと仕上げ、期日通り提出できるかどうか、など。 【主体的態度】国語の力を伸ばすために積極的かつ主体的に学習しているかどうか、など。		
				評価 方 法	知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2:2:1の割合で判断する。 ノート、授業態度、学習意欲、家庭学習の提出物、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。		
授 業 内 容	【1学期】	評論・報告書・小論文		学 習 方 法	基礎知識の習得にはプリントなどを用いて学習を進める。各評論の学習後には要約をし、まとめる力や記述力を身に着ける。また、問題意識をもって内容読解をすることで、自らの意見を述べられるように努め、小論文作成へとつなげる。適宜グループワークを行い、物事を多角的に捉える力を養う。授業後、教科書準拠学習課題ノートで再度内容の確認を行う。		
	【2学期】	評論・小論文					
	【3学期】	評論		備 考	模試の時期に合わせて適宜問題演習を行う。		
	年間を通して漢字学習と読書活動に取り組む。						

2025年度 地理歴史科シラバス (No. 7)

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位数	3	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース						
教科書	『詳説日本史』山川出版社		副 教 材	『新詳日本史』浜島書店			
科目 の 概 要	<p>日本史探究では、私たちの住む日本列島における人びとの歩みを学ぶ。具体的には、日本における政治・社会・経済・文化などである。その際、列島内部にとどまらず、日本と密接な関係を有した多くの地域との関係性に留意していくことが必要である。</p> <p>上記の観点に留意しつつ学習を進めることで、日本社会がどのように形成されてきたのかを理解し、日本の現在と未来を見定めることができるようになることが目標である。</p> <p>3年生においては、幕藩体制の成立から現代までの日本の歴史を学ぶ。</p>			評価 の 観 点	<p>○知識・技能…近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。</p> <p>○思考・判断・表現…考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度…近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>		
	授 業 内 容	<p>教科書、副教材の内容に沿ったプリントを使用し、授業を展開する。適宜、授業内容を踏まえた小テストを実施し、知識の定着を図る。また地図・パネル・映像といった視覚的な教材を用いて、歴史を多角的に捉える視点を養うことをめざす。</p> <p>課題や問題の特性に応じて、iPad を使用し、調べ学習を行ったり、調べた内容をグループで共有したりするなどの取り組みを通し、理解を深める。</p> <p>歴史は暗記のイメージが強い傾向にあるが、現代の日本で起きている多様な問題の歴史的背景を考察し、未来について考える力を養うことをめざす。</p>			評価 方 法	<p>定期考査と平常点で評価する。平常点は授業への積極的な姿勢・授業中の小テスト・レポート・課題プリントなどで総合的に評価する。調べ学習やグループ発表に取り組む姿勢など、学び合う意欲を評価する。</p>	
				学 習 方 法	<p>日本史学習の基本は、復習である。授業を受けた後、授業で学習した事柄を確認、整理し、理解することが必要である。</p> <p>また、適宜実施する小テストに備え、反復学習で実力を身につける。</p>		
				備 考	<p>歴史能力検定を、11月頃に本校で受験できる。</p>		

2025年度 国語科シラバス (No. 7)

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	4	学年	3	
学科・コース	普通科 幼児教育コース、総合キャリアコース、スポーツコース、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース							
教科書	『論理国語』数研出版		副教材	『新総合 図説国語』東京書籍 『論理国語 準拠ワーク』数研出版 辞書アプリ				
科目の概要	現代の国語「言語文化」の学習内容を発展させ、近代以降の論理的文章を読む。考える力、資料を的確に読み取る力、記述力を養う。報告書、小論文を書くことで入学試験対策を行い、あるいは社会で役立つ力を身につけるものとする。将来にわたって必要な、大きな軸となる学力を養うことを目標とする。			評価の観点	【知識・技能】学習内容を理解できているかどうか。 【思考力・判断力・表現力】文章内容を自分の知識とし、更に発展的に考えることができているか、課題をきちんと仕上げ、期日通り提出できるかどうか、など。 【主体的態度】国語の力を伸ばすために積極的かつ主体的に学習しているかどうか、など。			
				評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。 ノート、授業態度、学習意欲、家庭学習の提出物、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。			
授業内容	【1学期】 評論・報告書・小論文			学習方法	基礎知識の習得にはプリントなどを用いて学習を進める。各評論の学習後には要約をし、まとめる力や記述力を身に着ける。また、問題意識をもって内容読解をすることで、自らの意見を述べられるように努め、小論文作成へとつなげる。適宜グループワークを行い、物事を多角的に捉える力を養う。授業後、教科書準拠学習課題ノートで再度内容の確認を行う。			
	【2学期】 評論・小論文							
	【3学期】 評論							
年間を通して漢字学習と読書活動に取り組む。					備考	模試の時期に合わせて適宜問題演習を行う。		

2025年度 国語科シラバス (No. 8)

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース						
教科書	『精選古典探究 古文編』東京書籍 『精選古典探究 漢文編』東京書籍		副 教 材	『精選古典探究 古文編 学習課題ノート』東京書籍 『精選古典探究 漢文編 学習課題ノート』東京書籍 『新精選古典文法 三訂版』東京書籍 『新精選古典文法 準拠ノート 改訂版』東京書籍 『LT 古文3』浜島書店、『日本文学史 必携』第一学習社 『大学入学共通テスト演習 古典』いっぴな書店 『新総合 図説国語』東京書籍、辞書アプリ			
科目 の 概 要	「言語文化」で育成された資質・能力のうち「伝統的な言語文化に関する理解」をより深める。 古典を主体的に読み深めることを通して、伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解する。 古典作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりする。 日本の文化の特質や、日本の文化と中国など外国の文化との関係を考える。 入試対策として、大学入学共通テスト、国公立大学二次試験、難関私立大学の問題を意識した演習を行う。			評 価 の 観 点	【知識・技能】「言語文化」での既習事項(用言・助動詞の活用)に加え、敬語表現・助詞・副詞などの古典文法及び漢文訓読法習得の定着ができているか。 【思考力・判断力・表現力】古典の内容を理解し、それを発展させて考え、課題や発表の中で自分なりにきちんと表現できているかどうか。 【主体的態度】古典に興味を持ち、予習や復習を自発的に行っているかどうか。		
	古典作品全般(古文、漢文に偏りなく扱う) 【1学期】 古文：説話、歌物語 漢文：小話、史記総合問題の演習(古文) 【2学期】 古文：随筆、歴史物語、軍記物語 漢文：詩(近体詩、日本の漢詩)、思想(儒家)マーク方式・記述形式の問題演習(古文・漢文) 【3学期】 古文：作り物語 漢文：思想(道家)、入試直前対策 適宜、レポート課題やグループワーク、発表を取り入れる。				評 価 方 法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。 定期考査、ノートや副教材などの学習内容、授業態度、学習意欲、提出物の内容および提出状況、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。	
授 業 内 容				学 習 方 法	本文を品詞分解し、重要古語の意味などをあらかじめ理解し準備しておく。 授業時は作品背景や古典常識等を意識し、説明事項をもれなく記録することで、振り返りに活用できる自分なりのノートを作成する。 復習では高い意識で家庭学習にのぞみ、授業で習った文法事項などを定着できるよう反復練習を行う。		
				備 考	模試の時期に合わせて、適宜対策を実施する。		

2025年度 地理歴史科シラバス (No. 8)

教科	地理歴史科	科目	(学) 地理特講	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース (理系)						
教科書	『新詳高等地図』(帝国書院)		副 教 材	問題集『チェック&演習 地理』(数研出版)			
科目 の 概 要	特進コース3年生のうち、理系選択者のみが履修する。地理探究を履修していないが、地理探究の大学入学共通テストレベルの問題に対応できる学力を身につけることを目標とする。そのため、日頃から社会全体や世界情勢に対して興味・関心を持って接し、課題解決に向けた思考トレーニングをする習慣をつけておくよう、心掛ける。			評 価 の 観 点	○知識・技能…社会全体に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題に関わる地理的な素養を身につけている。 ○思考・判断・表現…考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 ○主体的に学習に取り組む態度…社会的事象の地理的な見方・考え方について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
				評 価 方 法	○知識・技能…定期考査等で評価する。 ○思考・判断・表現…定期考査の思考問題やレポート、課題等で評価する。 ○主体的に学習に取り組む態度…授業態度や提出物、グループ活動等で評価する。		
	問題演習を通して既習事項の振り返りと実践力の養成を行う。近年の出題トレンドを踏まえて単なる暗記とせず、どういった理由でそのような事象が発生するのかを理論的に考え、規則性や法則性を押さえ、特殊な事例に対応する力を養い、大学受験で通用する学力を身につける。			学 習 方 法	地理の学習では、ひとつの事象を多面的に捉えることが重要である。授業内で扱った語句の意味を理解することはもちろん、その語句がどの国や地域に関わるものなのか、グラフや表に表すとどのようにまとめられるのかなど、その都度しっかりと確認し、活用できるように学びを深める。		
授 業 内 容				備 考			